

市民のみなさんと議会をつなぐ

だいとうし 議会だより

2022年 5 月



3 月定例月議会号 No.110



だいとうし 街かどスケッチ

……石造九重層塔（野崎観音本堂の裏山）

基礎部分に『永仁二年』（1294年）と刻まれていることから、鎌倉時代後期に建立された北河内最古の層塔です。現在は風化などにより八重層塔となっていますが、昭和59年に当時の中学生が室戸台風（昭和9年）でなくなった最上層の屋根石を発見し、話題を呼びました。

審議の内容がもっとわかる！

こちらからも
アクセス
できます



本会議のライブ中継・録画中継、
会議録、議会だより（バックナンバー）
など、市議会の情報が満載です。

大東市議会ホームページ

大東市議会

検索

だいとうし議会だよりについてのお問い合わせ
大東市議会事務局 TEL.072-870-0763

もくじ

3月定例月議会のあらまし	2～3
専門部会の設置について	3
代表質問	4～6
一般質問	7～10
市議会レポート	10
一般質問項目／議会活動日誌	11
議案の審議結果	最終ページ

次の定例月議会の開催予定日です

本会議は市議会ホームページからライブ中継でご覧になれます

6月 3日(金)	本会議(議案上程・委員会付託)
7日(火)	未来づくり委員会
8日(水)	未来づくり委員会
9日(木)	街づくり委員会
10日(金)	街づくり委員会
22日(水)	本会議(一般質問)
23日(木)	本会議(一般質問)
24日(金)	本会議(一般質問・委員長報告・表決)

会議は、原則として午前10時に開会しますが、変更となることがあります。なお、未来づくり委員会・街づくり委員会はそれぞれ2日間の日程で予定していますが、1日目で終了したときは、市議会ホームページでご確認になれます。

※ 請願・陳情の受付期限は、5月24日(火)です。

4年度一般会計、 6特別会計、2企業会計を可決



令和4年3月定例月議会を2月21日～3月24日に開催し、東坂市長の施政方針が示されたほか、4年度一般会計・各特別会計・企業会計の予算、3年度各会計の補正予算、計画の策定及び条例の一部改正などを審議しました。（最終ページに關係記事）

また、2月27日には日曜議会を開催し、市長の施政方針に対する各会派の代表質問が行われました。

総額864億1339万円の
4年度当初予算を可決

令和4年度予算案を、一般会計及び国民健康保険・介護保険の2特別会計については賛成多数で、交通災害共済事業・火災共済事業・後期高齢者医療保険・2駅周辺整備事業の4特別会計及び水道事業・下水道事業の2企業会計については賛成全員でそれぞれ可決しました。一般会計498億9436万円、6特別

会計の合計が273億1334万円、2企業会計の合計が92億570万円となっております。予算総額は前年度（当初ベース）に比べ12億4865万円の減、一般会計は1億3147万円の増、特別会計は1億3368万円の増、企業会計は15億1380万円の減となっております。

その主なものは、

●大東市総合計画と大東市まち・ひと・しごと創生総合戦略（併せて「幸せデザイン大

東」を推進するために、市内外の住民の意識調査を実施し、進捗状況の把握・検証と広く市民に周知するための概要版の作成を行う総合計画・総合戦略推進事業に803万円

●汎用的な電子申請システムの整備による住民の利便性の向上と、文書管理・電子決裁

システムの整備によるペーパーレスやテレワーク推進等の業務効率の向上に取り組む行政サービスデジタル化推進事業に7078万円

●業務効率の向上及びデジタル化へのスムーズな移行に向け、デジタルツールを活用した業務プロセス分析及び業務量調査に着手して業務プロセスの可視化を図り、その分析と見直しを行うBPR推進事業に649万円

●JR学研都市線住道駅から忍ヶ丘駅間の踏切遮断による交通渋滞及び踏切事故の解消等のため、連続立体交差の可能性の検討や住道駅前デッキの活用による賑わいの創

出、また東部山地部での地区計画による既存集落のコミュニティの維持向上に引き続き、交流施設等の整備の検討など、市内の活性化につながる計画の策定と、立地適正化計画に防災指針を追加するなど、改訂を行うまちづくり調査検討事業に3538万円

●新型コロナウイルス感染症の影響で生活に困窮する世帯に対しては、緊急小口資金等の特例貸付などによる支援を行ってきたところ、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、既に総合支援資金の再貸付が終了するなどにより、特例貸付を利用できない世帯に対して就労による自立を図るため、また、それが困難な場合には円滑に生活保護の受給へつなげるために、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を支給する新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給経費に1億1006万円

●年齢・性別・障害の有無に関わらず、誰もが参加できるeスポーツの特性に着目し、eスポーツへの取組みを市内外にPRするとともに、各世代間の交流を創出して機運醸成を図るeスポーツ推進事業に276万円

●ICT活用教育を推進するツールとして、小学校ではプログラミング学習教材、中学校ではAI機能等を活用したデジタルドリルの導入と、研修会や教員間の情報共有を通じて全市的な授業改善の推進を行うICT活用教育推進事業に2186万円

などが計上されています。

(金額は1万円未満四捨五入)

「ロシアのウクライナに対する軍事侵略を非難する決議」を可決

令和4年2月24日、ウクライナの北大西洋条約機構(NATO)の加盟阻止をめざし、同国に対する圧力を強めてい

たロシアが本格的な軍事侵攻を開始した。ロシアはウクライナの防空システムを制圧した後、ロシアが一方的に併合を宣言したクリミア半島や北に隣接するベラルーシからも攻撃が加えられたとされ、各方面から地上部隊が侵入したと伝えられている。この強行された軍事侵攻は、国際法上決して許されるものではなく、人権を著しく阻害し、対話を無視した世界の平和を脅かす暴挙に他ならない。また、多くの人を傷つけ、国際社会の秩序が乱れたこの状況は、ロシアが招いたと言わざるを得ない。「非核平和都市宣言」を掲げている本市としては、最大の核保有国であることを強調し、その使用を示唆しているロシアに対し本市議会は、対話による解決を求めるとともに、ウクライナに対する侵略を強く非難する。

以上の内容の決議を賛成全員で可決しました。

議員報酬に関する特例条例の制定に向けた専門部会を設置

議員の職責及び議会への市民の信頼確保の観点から、議員が本会議・常任委員会などの会議や公務を長期にわたり連続で欠席した場合、議員報酬を減額することを目的とした議員報酬に関する特例条例を新たに定めるため、北村哲夫市議会議長の諮問機関として専門部会が令和4年2月27日に設置されました。議会運営委員会の指名により部会長に就任した品川大介議員と全6会派から1名選出された指定議員6名の全7名を構成員とし、検討を進めています。

主な検討内容は、減額割合、期末手当への減額適用の有無、欠席とする対象会議の種類や適用除外とする欠席理由などがあり、4月末日までに答申を出すことを目指します。

(※答申の内容については、次回号以降に掲載を予定しています。)



大東 真司 議員

Q 大東市デジタル化推進事業の包括的な取組みは。

A 令和3年5月に成立したデジタル改革関連法に基づき、大東市DX推進基本計画の策定を進めています。書面・押印等を見直し、行政手続きのオンライン化とデジタル技術を活用したオフィス改革や、市内企業がデータとデジタル技術を活用する市内企業DX推進事業などを推進していきます。



Q 公民連携教育の推進は。

A 教育においては、個性や学

習到達度が子ども一人ひとり異なることを前提に、学びの自律化・個別最適化を進め、全ての子どもが学びたいと思える環境づくりが大切であると考えています。それを受けて、民間事業者と連携し、フリースクールのような公民連携スクールを令和5年4月に開設します。多様な価値観や考え方にに基づき学び方を選べる環境を整え、公民連携スクールへの通学を希望する生徒を幅広く受け入れる予定です。

Q 行政経営対策と公民連携について教えてください。

A 今後重点的に取り組むべき事項が多く、複数の部署にまたがっている財産活用現状を改善するために、資産経営課を令和4年度に創設します。資産経営課では、公民連携手法を用いて様々な施策を進めていきます。また、本市の玄関口である住道駅前を活性化させることで、住道駅周辺エリアの価値向上に取り組んでいきます。



石垣 直紀 議員

Q オミクロン株への本市の対策を教えてください。

A オミクロン株は感染力が非常に強く、高齢者への感染拡大により、多くの死亡者が出ています。本市の対策としては、第一にワクチン接種の推進です。厚生労働省の発表によると、感染・発症予防へのワクチン効果は従来株より低いものの、重症化予防には高い効果が期待できるとされています。また、三密



の回避や手指消毒などの基本的な感染防止対策の徹底も周知します。さらに、大東市雇用維持助成金として国の助成金に対する本市独自の拡充や自宅療養者への生活物資の支援など、国や府の隙間を埋めるきめ細やかな取組みを展開しています。

Q 行政手続きにおけるオンライン化やキャッシュレス化の進捗状況は。

A 現在策定中の大東市DX推進基本計画に基づき、行政手続きのオンライン化・キャッシュレス化を進めます。オンライン化は、市民等の利便性の向上や行政事務の効率化が期待でき、コロナ禍においては対面接触を減少させるという点からも、極めて重要であると認識しています。現在利用可能なオンライン手続きは一部に過ぎませんが、より一層オンライン化を推進するため、令和3年度中に各種申請様式の見直しを完了させ、4年度以降も電子申請・電子決済のシステム拡充などに向けて、積極的に整備を進めていきます。



水落 康一郎 議員

Q 新型コロナウイルス感染症のクラスターの早期発見のために、医療施設や高齢者施設を対象にした下水道のPCR検査の実施についての見解は。

A 地域の感染状況を把握する手段として活用できるのではないかと言われており、大阪府内でも一部の自治体が実施していると聞いています。今後、活用方法についても検討していきます。

Q モノレールの延伸に関して、より快適な都市空間の創出とエリア価値の向上について、市の具体的な考えを聞かせてください。

A 大阪モノレールの延伸は、2029年の開業を目指し事業が進められており、延伸を契機として、JR鴻池新田駅周辺の道路環境整備に向けて関係機関との議論を進め、エリア価値

の向上につなげていきたいと考えています。

Q 本市における出生率の推移や、20代から40代の人口動態について、どのような状況ですか。また、様々な子育て施策において所得制限を実施されていますが、子育て世代の流入のために撤廃すべきだと考えます。市長の見解は。

A 本市における出生率は1.3%前後で推移しており、20代から40代の人口動態については、全体としては減少傾向にあります。所得制限の撤廃については、限られた財源であり、より必要性の高い目的に適切に活用するため、所得に関する一定の配慮は必要であると考えています。



野上 裕子 議員

Q eスポーツ推進の現状は。

A 判断力、思考力や創造性等を高めるなど脳に刺激を与え、チーム戦では連携力やコミュニケーション能力の向上にもつながることから、青少年の健全育成や将来に向けた人材育成としてeスポーツを教育にも積極的に取り入れ、活用していきたいです。また、認知症予防にも効果的であり、年齢・性別を問わないことから、eスポーツを通じた



eスポーツの普及・啓発を目指し、アクティブ・スクウェア・大東に設置されたゲーミングパソコン

多世代交流の実現も考えています。そして、本市におけるeスポーツの普及・啓発に弾みをつけるため、ゲーミングパソコンをアクティブスクウェア・大東に設置し、気軽にeスポーツに触れられるeスポーツスポットの整備を進めていきます。

Q 切れない子育て支援拡充について教えてください。

A 「子育てするなら、大都市よりも大東市。」を掲げている本市では、妊娠から18歳までの切れ目のない子育て支援を実施しています。また、子育てスマイルクーポン事業や保育所等の副食費の無償化事業など、他市に先駆けた本市独自の単独事業にも取り組んできました。放課後児童クラブの利用者負担の改善については、令和3年度に実施したアンケート調査の結果をもとに、利用料や減免制度の見直しを検討しています。また、土曜日・長期休業期間の開所時間の変更や夏季限定利用の本格的な実施に向けても、現在調整を行っています。



天野 一之 議員

Q 本市における具体的な生活困窮対策は。

A 本市では、大東市地域福祉計画の基本理念である「みんなで支える 笑顔あふれる地域共生社会」の実現に向けて、福祉施策を推進しています。生活困窮対策の隙間を埋める対応として、くらしサポート大東を設置し、生活困窮者の自立に向けた就労や家計の支援を行っています。また、就職活動を支援するために家賃を給付する住宅確保給付金の支給、住民非課税世帯等への臨時特別給付金の支給、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給や大東市社会福祉協議会における緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付の申請期間延長なども実施しました。しかし、現在行っている施策で十分に行き届いているという認識を持っていて

けではなく、施策には優先順位や財源との見合いもあるため、最大限の住民福祉の向上・維持につながる身の丈に合った施策を、本市独自のオーダーメイドとして推し進めていくことが重要であると認識しています。そのためには、出来る限りの手を差し伸べる、出来る限りの施策を実践するという思いを持ったうえで、市民生活の実態を的確に把握し、まずは新型コロナウイルス感染症対策や生活支援対策を継続して行うとともに、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、将来にも明るい展望を抱けるような取組みを展開していきたいと考えています。



中河 昭 議員

Q 新型コロナウイルス感染症の蔓延やデジタル化が進む時代において、令和4年度に向かう市長の意気込みを教えてください。

A 社会変動が激しく、先行きが不透明な昨今においては、常に変化を意識し、変化に対応した市政が求められると考えています。また、そのような社会状況でも市民一人ひとりが幸せになれることを全ての施策の揺るぎない基準としています。今後、将来を見据えつつ、新型コロナウイルス感染症の蔓延や急速なデジタル化の進展など目の前の課題に向き合いながら解決すること、市民の不安を増やすことなく、幸せを一つひとつ増幅させていけるような施策を展開していきます。

Q 国史跡指定された飯盛城跡の今後の整備はどうしますか。

A 国史跡指定後、飯盛城跡への来訪者は増加しており、利便性向上に向けて、令和3年度にハイキング道沿いにバイオトイレと駐車場を設置し、現在は飯盛城跡の道路標識の阪奈道路への設置を進めています。今後は、4・5年度の2か年をかけて史跡保存活用計画を策定し、保存と活用に向けた整備の方向性を定めます。また、飯盛城跡の土地はほとんどが私有地であるため、将来の公有化も視野に入れて、土地の境界確定を進めていきます。そして、飯盛城跡の魅力発信を含めた様々な観点から保存・活用・整備の取組みを進めていきます。



令和3年10月に本市で初めて国史跡指定を受け、今後観光地としてさらなる整備・活用が期待される飯盛城跡

一般質問

大東市版防災アプリ導入

への進捗状況についてなど



東 健太郎 議員
(公明党議員団)

Q (1)大東市版防災アプリ導入への進捗状況は。

A 防災アプリ、防災システムの構想案と仕様書が完成しています。今後、数社に対して見積りを依頼し、それを受けて令和4年6月定例会月議会に補正予算を計上し、4年度内の導入を目指しています。

Q (2)私が提案した高齢者へのデジタルアウトリーチは。

A 生活支援コーディネーターを中心に、高齢者向けのスマホ教室を開催しています。基本的な使用方法から便利な機能など幅広い内容を参加者個人のレベルに合わせて行っています。また、生活サポート事

3月定例会月議会では、11人の議員から一般質問があり、各議員が希望した項目を要約して掲載しています。
なお、各議員の一般質問の主な項目は、11ページ上段に掲載しています。

業の一環として、公共サービス等のオンライン申請などの支援も目指しています。さらに、民間活力による取組みの検討も進めており、今後もデジタルディバイドの解消・緩和に取り組んでいきます。

アニマルウェルフェアの

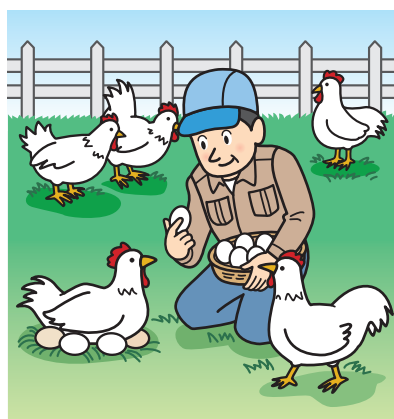
学校給食を求める



光城 敏雄 議員
(市民オリーブ大東・自民党議員団)

Q 家畜にとってストレスや苦痛が少ない飼育環境をめざすアニマルウェルフェアの考え方のもとで育った鶏卵を学校給食に使ってみてはどうですか。

A 農林水産省は、アニマルウェルフェアの考え方を踏まえた家畜の飼養管理の普及に努めるとの見解を出しています。一方、狭いケージ内での行動



を制限しないケージフリー方式は鶏のストレスが和らぐ環境とされているものの、ケージ方式と比べて数倍の生産コストがかかることや、安定供給が困難であること、卵アレルギーを持つ児童・生徒が多いことなど検討課題が多く、現状では慎重にならざるを得ない状況です。今後、アニマルウェルフェアの考え方に沿った生産者が増加し、これらの課題が解消すれば、学校給食においても活用できるのではないかと考えています。

観光事業の推進についてなど



大東 真司 議員
(公明党議員団)

Q (1)観光協会設立と公民連携での運営についてどうですか。

A JR野崎駅から近く、野崎観音や飯盛山へのアクセスルートに位置するアクティブ・スウェア・大東は、本市の観光拠点になると考えています。今後当該施設や関係課等と連携し、観光拠点としての可能性を検討していきます。

Q (2)要望の翻訳システムの現状は。

A 国際化の進展と言語の多様化や即時の対応体制等の課題から、手話と多言語に対応可能な映像通訳サービスを導入しました。今後は窓口の利便性向上に有効なデジタルツールとしての積極的な活用に向けて、検討を進めていきます。

Q (3)本市独自のマイナポイントの検討結果は。

A 国が段階的にマイナポイント

第2弾を実施するため、本市独自の上乘せは適切な時期に判断したいと考えています。

災害について



児玉 亮議員
(大阪維新の会)

Q 本市の受援計画の内容と策定の進捗状況を教えてください。

A 地域防災計画及び業務継続計画に定める業務を災害時に実施するため、外部からの応援を最大限活用し、地域防災計画と業務継続計画を下支えするものが受援計画です。本市の受援計画は、大東市地域防災計画の改定に合わせて作成し、令和3年度中に策定が完了する予定です。



約30品目ある備蓄品のうちの一つである、飛沫防止パーテーション

■ 備蓄物資の現在の状況は。

■ 本市では、生駒断層帯地震を想定し、約26,000人分の物資を備蓄しています。例えば、アルファ化米、ラスクや乳幼児用の液体ミルクなどの食料品、飛沫防止パーテーションや簡易ベッドに加え、感染症対策として防護服や消毒液など、約30品目の備蓄を行っています。今後も備蓄物資の拡充を行っていきたいと考えています。

障害のある子どもへの

通学支援についてなど



酒井 一樹議員
(公明党議員団)

Q (1) 通学支援の進捗状況と今後の進め方を教えてください。

A 障害のある人を対象とする移動支援の枠組みの活用を想定しています。保護者は学校へ申込書を提出し、学校はアセスメントを取った後、福祉部局へ申込書等を送付します。

福祉部局においてサービスの利用を決定した後、保護者とサービス事業者が契約し、通学支援サービスを利用するという事業スキームで制度設計の準備をしています。令和4年中に開始できるよう、要綱の作成を鋭意進めていきます。

Q (2) 医療的ケア児の支援体制の拡充に向けた具体的対応策は。

A 令和3年9月に施行された医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律に基づき、学校内で児童・生徒への生活介助及び学習介助を必要とする学校へ看護師資格を有する介助員を配置しています。

大阪広域水道企業団との

統合について



木田 伸幸議員
(大阪維新の会)

Q 市民に分かりやすく教えてください。

A 大阪広域水道企業団は、大阪府営水道を引き継ぐ団体とし

て、平成22年度に大阪市を除く42市町村が共同で設立した一部事務組合です。「おおさか水道ビジョン」に基づき、企業団を核とした府域一水道という広域化の推進に取組んでおり、令和3年4月時点で13の市町村が統合しています。

本市においても、サービスの維持・向上、給水安定性の向上及び運営基盤の強化を図り、安心・安全な水を安定的に供給することを目的に、6年4月での統合を検討するために2年度から協議を行い、4年1月には覚書を締結しました。今後も20年、30年、40年後を見据え、統合効果の検証と検討協議を行い、他の団体の状況も見ながら判断したいと考えています。

必要な教員数の

確保についてなど



あらさき 美枝議員
(日本共産党議員団)

Q

(1)令和4年度に本市独自採用による正職員の各校1名増員を目標に予算要求してください。

A

支援員等の増員を図りながら、現状の教員不足問題の解消に向けた動向にも注視し、限られた財源を教育的効果の高い施策から活用することを検討したうえで、予算の確保に努めていきたいと考えています。

Q

(2)公共交通の料金値上げについて、据置きでお願いします。

A

東部地域の公共交通は、1便あたり2,600円に対して、現在高齢者は1人あたり100円の負担ですが、コースの再編により一律300円、高齢者は200円とする案を検討しています。利用者負担の



東部地域の市民にとって重要な移動手段となっている公共交通の停留所

観点から値上げの話が始め

ましたが、本市としては無理に押し切るつもりはありません。今後、公共交通会議での議論の結果を受けて、判断したいと考えています。

公文書管理と 属人的な業務改善について



中村 晴樹議員
(大阪維新の会)

Q

事務決裁規程において、土地を借りる場合も貸す場合も決裁権者の基準が曖昧になっています。また、郵便局北側の土地について、昭和46年の借入れ金額は400万円で副市長決裁となっています。これは、適正な手続きですか。

A

当時の事務決裁規程が現在と同様であれば、不適切であったと思っています。
借りの場合、貸す場合、どちらの場合においても、市民がすぐに分かるような仕組みを構築してほしいです。見解を

聞かせてください。

■現在の規程は、職員によって判断基準が異なるという可能性があります。そのため、この場合は比較的重要なもの、この場合は軽易なもの、というように例示的に事例を示しながら、職員によって判断基準が変わらないように職員に示していきます。

平野屋新田会所跡の整備と 活用計画の方針について



小南 市雄議員
(清 新 会)

Q

整備内容と活用計画の方針はどのようなものですか。整備後は歴史資源として公開し、中を歩き、当時を思い浮かべながら見学できるようにする考えでしょうか。

A

平野屋新田会所跡の整備については、令和5年度に策定する保存活用計画に基づき、6年度以降、順次実施していく予定です。その方針について

は、保存活用計画で決定することになります。本市としては、平野屋地区に公園がないことも考慮し、文化財としての価値を残しながら、市民の憩いの場となる史跡公園を整備していきたいと考えています。

会所跡北側にある販売予定の 宅地の買い取り交渉状況は。

■鑑定評価額による購入を希望していますが、現時点で相手方の同意はとれていない状況です。

新型コロナウイルス感染症対策方針 制定後の総括と課題など



天野 一之議員
(日本共産党議員団)

Q

(1)本市の新型コロナウイルス感染症対策方針の策定から1年が経過しましたが、総括と課題は。

A

本方針の「暮らしを守る」「未来を守る」「安心を守る」の「3つの守る」を柱に、きめ細やかな対策を実施してきました。

今後、先を見極めて柔軟に対応していくためには、長期化するコロナ対策に高い意識を持ち続けられるような組織機運の一層の醸成が必要と考えています。

Q (2)身体障害者手帳を持たない高齢者向けの補聴器補助制度の創設を求めます。

A 補聴器を使いこなせないという声が現場では多く、購入後の生活支援が、より多くの高齢者のためになると考えています。まずは、補聴器業者などと連携し、高齢者の聞こえの悩みに対応できる仕組みづくりに取り組み、並行して補助制度創設の研究を続けます。

高齢者の更なる

見守り事業について



杉本 美雪 議員
(公明党議員団)

Q 高齢者の居宅の電球が点灯・消灯したままなどで動きがない状態を自動的に感知し、家

族などにメールでお知らせするハローライト事業の対象者と開始時期を教えてください。

A 75歳以上のひとり暮らしの方や日常生活を送るうえで、常に注意が必要な65歳以上75歳未満のひとり暮らしの方など100世帯を対象に、令和4年6月から、月額1,078円の利用料金を3か月間助成する予定です。

振込み詐欺対応の自動通話録音機の活用についての取組み状況を教えてください。

■ 電話機に自動通話録音機を取り付けることで警告メッセージが流れ、通話内容を自動録音する特殊詐欺対策機器を65歳以上の高齢者を対象に無料貸出することを考えており、令和4年度の早い時期に実施できるよう目指していきます。



議会市民レポーターの



だいとう市議会

苦難軽減に寄り添って

私は議会レポーターとして時間の許す限り議場に通り、全議員の質問・意見及び行政側の答弁を聞かせてもらいました。議員の方々は貴重な一票で選ばれ、市民から信託（信用して委託）されています。市民の苦難軽減に寄り添った綿密な調査と研究に基づく意見には説得力があり、信頼を寄せました。格差社会の上にこのコロナ禍で生じた様々な生活困窮及び暮らしと直結した悲惨な出来事は決して他人事とは思えません。「いつでも必要な所に必要な手」を思想信条・立場を超えて真摯に取り組んでほしいと思います。

(赤井3丁目 高野隆喜)

大東市のこれから

私は本会議をライブ中継での視聴や議場での傍聴をさせていただきました。その時に感じたことは、議会を通してその時々の大東市の課題が見え、その問題提起を一つひとつ改善・実現されてきたことが今の大東市を作っているということです。議員お一人おひとりが大東市のために考え、答弁されている議会の様子をたくさんの方に知ってもらいたいと思います。世界では戦争になろうかという国もあります。市長はじめ、身近にいます市議会の皆さんが私たちの安心の窓口になりますよう益々のご活躍を期待いたします。

(泉町 K.Y.)

一般質問の主な項目

(緑色の項目は7～10ページにその質問の要約を掲載しています)

※掲載は発言順

1 中村 晴樹 議員

- 大東市自治基本条例の条例形成過程について
- 公民連携とスポーツ推進について
- 派遣職員に関するコロナ慰労金について
- 属人的な業務改善について
- 公文書管理について

2 小南 市雄 議員

- 平野屋新田会所跡の整備と活用について
- 車いす利用者が楽しく散歩できる企画提案を
- 18歳での新成人に本市が期待することは
- 小・中学校でのフードピクトの使用について
- 新型コロナウイルス感染症拡大のBCP対策

3 光城 敏雄 議員

- 公用地や普通財産の活用状況について
- 一人住まいの高齢者への配慮の状況は
- アニマルウェルフェアの給食を求める
- パワハラ防止法の活用と啓発の状況は
- 学校現場における香りの害への配慮は

4 東 健太郎 議員

- 新型コロナウイルスのワクチン接種について
- GIGAスクール推進事業について
- 災害時の避難体制について
- 行政のデジタル化について
- 子ども発達支援センターの延長保育について

5 あらさき 美枝 議員

- 介護保険料の市独自減免の拡充内容について
- 教育のあり方について
- 市内の相談援助体制について
- 市有財産の活用について
- 公共交通の充実に向けて

6 児玉 亮 議員

- 災害について
- 受援計画について
- 防災訓練について
- eスポーツについて
- eスポーツの年齢層別の取組みについて

7 杉本 美雪 議員

- 高齢者の更なる見守り事業について
- 女性を対象とした就労支援について
- 地域防災の取組みについて
- 医療用ウィッグと補正具の購入補助について
- 不妊治療の助成金について

8 天野 一之 議員

- 視覚障がい者の意向を尊重した同行援護を
- 高齢者への補聴器の購入補助制度の創設を
- 今後の深野北小学校跡地活用について
- GIGAスクールにおける教員へのサポート
- 市内小・中学校における臨時休業の状況は

9 大東 真司 議員

- 新型コロナウイルス感染予防対策について
- 観光事業の推進について
- 翻訳システムの導入について
- 本市独自のマイナポイントについて
- ふるさと納税の拡充について

10 木田 伸幸 議員

- 水道事業の民営化は100%ないのか
- 統合の最終判断は誰の権限で責任の所在は
- 本市が予定していた値上げのタイミングと統合した場合の値上げのタイミングは同じか
- 統合への検討はどのようなプロセスで行うか

11 酒井 一樹 議員

- 学校における医療的ケアの必要な子どもたちへの支援について
- 障害のある子どもへの通学支援について
- 野崎駅・四条畷駅周辺整備について
- 本市における道路整備について



議会活動日誌

(令和3年12月定例会以降のもの R3.12.23~R4.3.24)

12月

27日・飯盛霊園組合議会

1月

- 4日・会派代表者会議
- 18日・会派代表者会議
 - 大東市の行財政改革特別委員会
 - 大東市の市庁舎建て替えに関する特別委員会
- 19日・議会運営委員会
 - 全議員議案説明会
 - 本会議 (1月特別議会)

2月

- 1日・大阪府市議会議長会正副会長会
- 2日・議会運営委員会協議会
 - 合同委員会報告会
- 4日・特別協議会
- 14日・会派代表者会議
 - 全議員議案説明会
 - 議会運営委員会
 - 大東市の交通課題に関する特別委員会
- 15日・大阪広域水道企業団議会

2月

- 15日・大東市の教育に関する特別委員会
- 16日・大東四條畷消防組合議会
- 21日・全員協議会
 - 本会議 (3月定例会議会第1日目)
- 27日・会派代表者会議
 - 本会議 (3月定例会議会第2日目) 日曜議会
 - 議会運営委員会
 - 専門部会

3月

- 1日・東大阪都市清掃施設組合議会
- 2日・専門部会
- 3~4日・未来づくり委員会
- 8日・大東市総合計画・総合戦略審議会
- 9~10日・街づくり委員会
- 14日・専門部会
- 15日・大東市都市計画審議会
- 17日・会派代表者会議
 - 議会運営委員会
- 22日・本会議 (3月定例会議会第3日目)
- 23日・本会議 (3月定例会議会第4日目)
- 24日・本会議 (3月定例会議会第5日目)

付議された議案の審議結果

1 月特別議会

○賛成 ×反対

件 名		審議結果	公明党 議員団				大阪 維新の会			清新会		Jimin 翔政 会	日本 共産党 議員団	市民 オンブズ 大東・ 自民党 議員団				
			東 健太郎	杉 本 美 雪	酒 井 一 樹	大 束 真 司	児 玉 亮	木 田 伸 幸	中 村 晴 樹	石 垣 直 紀	小 南 市 雄	品 川 大 介	水 落 康 一 郎	野 上 裕 子	北 村 哲 夫	天 野 一 之	あらこぎ 美枝	光 城 敏 雄
3 年度 補正予算	一般会計補正予算（第 1 0 次）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○

3 月定例月議会

3 年度補正予算	一般会計補正予算（第11次）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○
	国民健康保険特別会計補正予算（第3次）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○
	介護保険特別会計補正予算（第3次）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○
	後期高齢者医療保険特別会計補正予算（第3次）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○
	2 駅周辺整備事業特別会計補正予算（第1次）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○
4 年度予算	一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		×	×	×	○
	国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		×	×	○	○
	交通災害共済事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○
	火災共済事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○
	介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		×	×	○	○
	後期高齢者医療保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○
	2 駅周辺整備事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○
	水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○
計画の策定	下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○
	公民連携事業の実施に関する方針	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		×	×	○	○
条例の一部改正	消防団員等公務災害補償条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○
	職員の育児休業等に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○
	国民健康保険税条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		×	×	○	○
	附属機関条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○
	文化財保護条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○
請願	75歳以上医療費窓口負担2割化の中止を求める請願書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×		○	○	×	×
決議	ロシアのウクライナに対する侵略を非難する決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○
その他	市道路線の認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○
	市道路線の廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○

議長のため、採決に加わらず

欠席

議会市民レポーター

令和4年4月1日付で10人の市民の方々が、北村哲夫議長から「議会市民レポーター」に委嘱されました。任期は1年で、議会活動や議会運営について市民の目線でご意見をいただくとともに、議会の広報・啓発にもご活躍いただきます。

〈訂正〉

『だいたうし議会だより』2022年2月号の「一般質問」（6ページ）に掲載している北条中学校の写真キャプションにおいて、所在地表記に誤りがありました。お詫びして訂正します。

【誤】（北条3丁目） → 【正】（北条2丁目）